

## 平成 24 年度 講演会開催結果（概要）

平成 24 年 10 月 26 日、那須野が原ハーモニーホール（栃木県大田原市）で、平成 24 年度講演会「TPP と私たちの暮らし～農畜産業と生活への影響～」を開催しました。

本講演会は開拓営農に取り組んでいる開拓者・農業者等の資質向上や営農推進を図るため、会員の所在する都道府県において開催するもので、昨年度青森県での開催に次ぎ、2 回目の開催となります。

開催にあたっては、栃木県、那須塩原市、那須町、栃木県畜産協会、栃木県酪農協会、生活クラブ生協（栃木）、栃木県開拓農業協同組合、栃木県開拓者連盟にご後援いただきました。



今年度は昨年度に引き続き、講師に鈴木宣弘教授（東京大学大学院教授 農学博士）をお招きし、TPP の知られざる現状などをお話いただきました。

鈴木教授は、消費税や原発等の他の問題がクローズアップされているなか、我が国の TPP 参加交渉は実は水面下で着々と進んでいると述べ、日本政府が国民に「情報収集のための関係国との事前協議」と説明しているのはウソで、米国との既成事実化が進められていると指摘。その他にも「関税撤廃条件に例外ができることはウソ」「米国が国民健康保険については問題にしないと言っているという情報は間違い」

「TPP が一番レベルの高い FTA だというのはウソ」「農業が障害で交渉が進まないというのはウソ」など、現在出されている情報についてのウソや間違いが次々と指摘されました。



当日は、開拓関係者や農業者の方だけでなく、県内在住・勤務されている方々、近隣の農業科の高校生など、290 名の参加者にお集まりいただき、皆さん熱心に鈴木教授のお話に聞き入っていました。

講演終了後には参加者より質問や意見が相次ぎ、大盛況のうちに終了することができました。

